

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	独語第二		
英文授業科目名	Elementary German II		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科		
担当教官名	宇田川 尚人		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
naoto_u@tka.att.ne.jp	

【主題および達成目標】
初級ドイツ語を、「人間とは何か」をテーマとしたテキストを用いつつ、文法と読解の2つの観点から総合的に学習する。ドイツ語テキストの読解に必要な最低限の単語および構造の理解と基礎語学力を習得することが目標であるが、併せてテキストに即して「人間とは何か」というテーマを掘り下げ、テクノロジーとヒューマニティーの両立を目指すドイツの現代思想をも紹介できればと思う。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
教科書：『Deutsch als Zugang zur Frage: Was ist der Mensch?』（ポータルサイト：ドイツ語） 大久保進、ガビ・グレーベ著、朝日出版社。 セクション6～10 参考書：授業内で紹介する。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

授業内容：

(1) 文法事項 / 構文の解説 + (2) 練習問題の答え合わせ + (3) テキスト本文の読解、を1サイクルとし、初級ドイツ語の基礎を段階的、構造的に身につけていく。特に読解では、漠然と訳すのではなく構文・構造を正しく理解できているか、内容を正しく読みとれているかをチェックしていく。また授業では、テキスト読解に合わせて、テーマに関する解説をも適宜行う。

授業の進め方等：

毎回予習してあることを前提とする。きちんと授業に出席し積極的・自発的に参加することが望まれる。小テストを行う。学期末試験を行うかどうかは学生と相談の上決定する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：平常点 + テストの結果点 + 出席率によって総合的(1:2:1)に評価する。

評価基準：2/3以上の出席率と50点以上の試験の成績を最低基準とする。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、授業後等に事前にアポイントを取ることが望ましい。

【学生へのメッセージ】

積極的に授業に参加し、わからない時はどこがどのようにわからないかを直ちに述べること。

【その他】

特になし